

静岡県事故ゼロプランについて (事故危険区間重点解消作戦)

国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所
沼津河川国道事務所
浜松河川国道事務所



静岡県事故ゼロプランについて

1. 令和7年度の取り組み概要	1
2. 事故ゼロプランによる事故削減効果	2
3. 事故ゼロプランの推移	3
4. 対策済み区間に対する効果評価	5
5. 事故ゼロプランの新規追加区間	9
6. 事故危険区間の対策効果事例	11
7. 令和7年度の道路利用者意見収集の実施状況について	14
8. 令和8年度の事故ゼロプランの活動予定	17

令和7年度の取り組み概要

- 『事故ゼロプラン』では重大事故の発生に直結している幹線道路として、国土交通省の管理する国道を対象に、事故データや地域住民からの意見等に基づき交通事故の危険性が高い区間（事故危険区間）を選定し、重点的・集中的に対策を行うことにより効率的・効果的な交通事故対策を推進している。
- 令和7年度は、平成28年に設定された評価基準・抽出基準に基づき「対策済み区間に対する効果評価」および「新規追加区間の抽出」を実施した。

静岡県事故ゼロプランの推進状況

■ 取り組み1. 対策済み区間に対する効果評価

- ・ 最新の事故データ(R2-R5)に基づき、今年度効果評価の対象となる**25区間について効果評価を実施**。
(効果評価結果：事業完了 5区間，継続評価 19区間，追加対策 1区間)

■ 取り組み2. 新規追加区間の抽出

- ・ 最新の事故データ(R2-R5)及び利用者意見に基づき、**新規追加区間として4区間を選定**。
(事故データに基づく選定：4区間，地域の声等に基づく選定：0区間)

■ 取り組み3. 事故危険区間の対策効果事例

- ・ 近年対策を実施した事故危険区間での対策効果事例の共有
(静岡国道：国道52号 静岡市清水区八木間町，沼津河川国道：国道1号 西添町交差点，
浜松河川国道：国道1号 西郷IC)

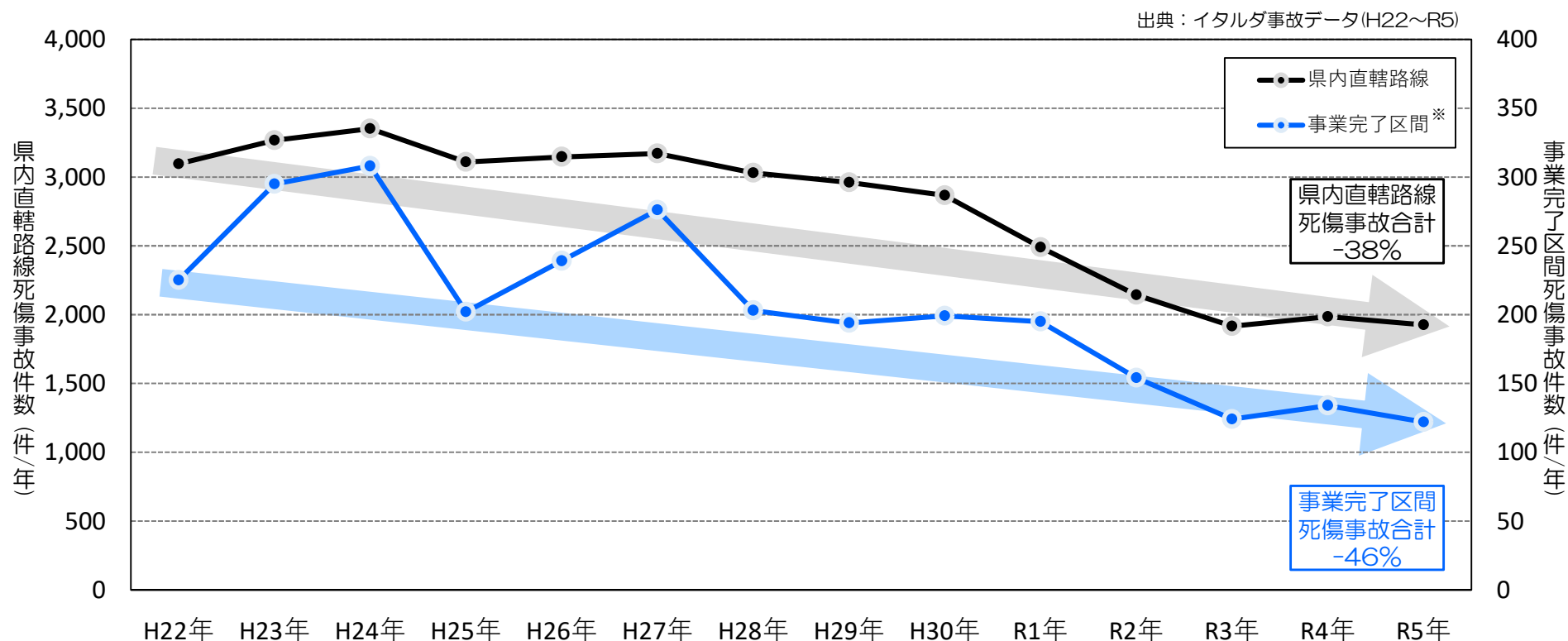
■ 取り組み4. 道路利用者意見収集の実施計画

- ・ 社会資本重点整備計画の更新と足並みを合わせた、道路利用者意見収集を実施

事故ゼロプランによる事故削減効果

①直轄路線における事故件数推移

- 事故ゼロプラン発足時のH22から、最新の事故データR5までの死傷事故件数を比較。
- 静岡県内の直轄路線全体では死傷事故件数が約38%減少している。
- 対策を終え「事業完了」と評価された事故危険区間では約46%減少しており、事故対策事業の推進により効率的に死傷事故を削減している。



※令和7年度開始時点の事業完了区間：95区間を対象に集計

3

事故ゼロプランの推移

①事故ゼロプラン（事故危険区間数）の推移

- R7年度は追加対策を6区間、新規対策を4区間の計10区間で対策を実施。
- 対策済み区間の評価を踏まえ、5区間を事業完了とし「事故データに基づく選定」及び「地域の声等に基づく選定」を踏まえ、4区間を追加。

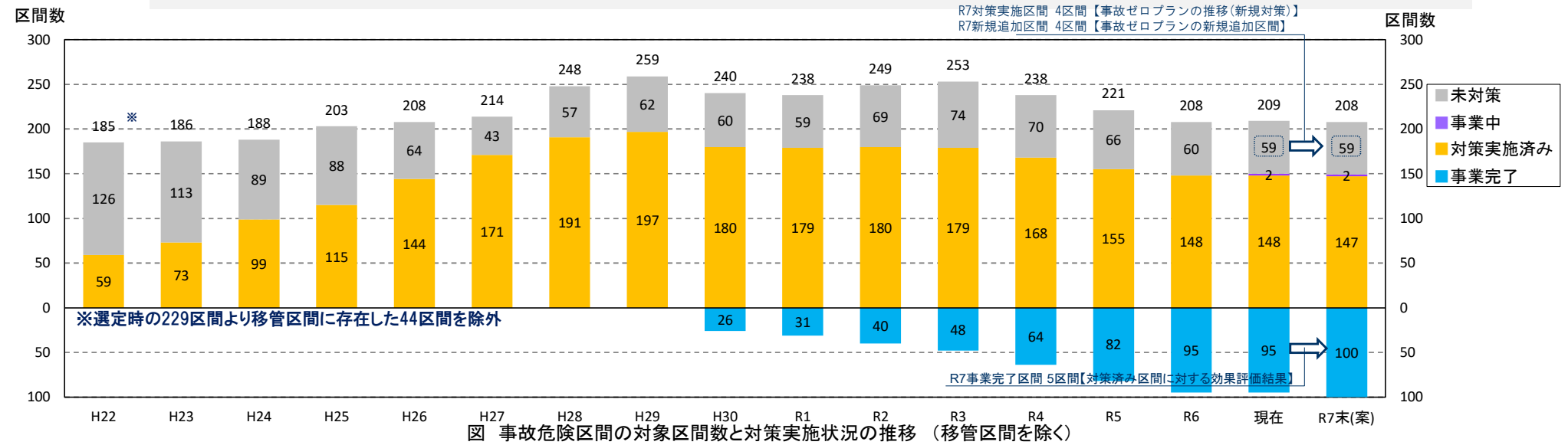


表 事故ゼロプラン登録区間数の推移

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7末(案)
静岡国道事務所	登録	82	83	83	92	94	96	117	119	109	107	122	121	114	106	100	99
	事業完了	0	0	0	0	0	0	0	0	12	15	18	20	27	35	42	45
	計	82	83	83	92	94	96	117	119	121	122	140	141	141	141	142	144
沼津河川国道事務所	登録	63	63	64	67	69	69	78	84	79	78	79	86	79	74	68	67
	事業完了	0	0	0	0	0	0	0	0	9	10	11	13	20	25	31	32
	計	63	63	64	67	69	69	78	84	88	88	90	99	99	99	99	99
浜松河川国道事務所	登録	40	40	41	44	45	49	53	56	52	53	48	46	45	41	41	42
	事業完了	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	11	15	17	22	22	23
	計	40	40	41	44	45	49	53	56	57	59	59	61	62	63	63	65
静岡県内 直轄合計	登録	185	186	188	203	208	214	248	259	240	238	249	253	238	221	209	208
	事業完了	0	0	0	0	0	0	0	0	26	31	40	48	64	82	95	100
	計	185	186	188	203	208	214	248	259	266	269	289	301	302	303	304	308

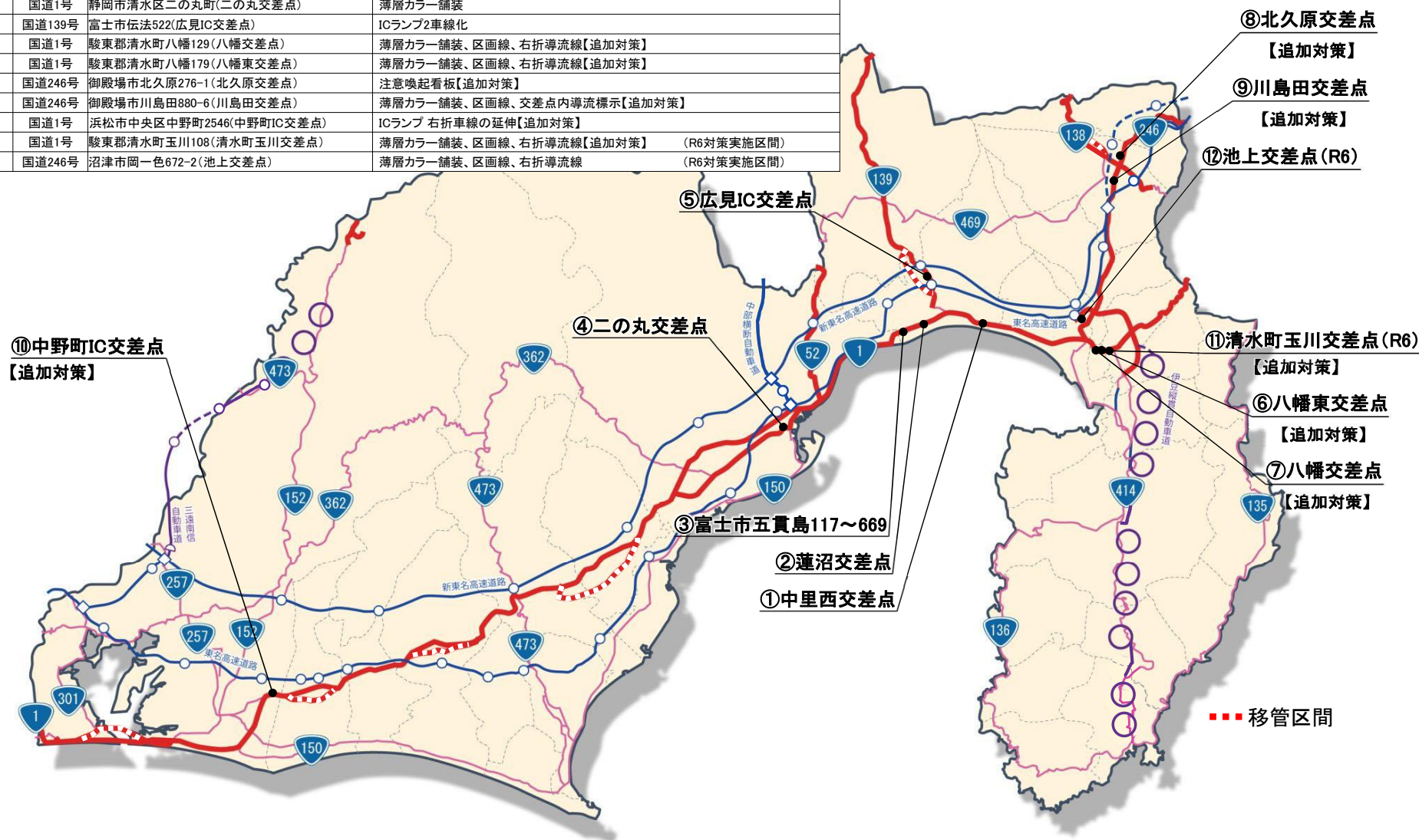
事故ゼロプランの推移

令和7年度の事故危険区間の対策実施状況

事務所名	路線名	区間名	対策内容
1 静岡国道事務所	国道1号	富士市中里2562(中里西交差点)	薄層カラー舗装、区画線、注意喚起標識【追加対策】
2 静岡国道事務所	国道1号	富士市川成島71(蓮沼交差点)	薄層カラー舗装、区画線
3 静岡国道事務所	国道1号	富士市五貫島117～669	薄層カラー舗装、区画線、注意喚起標識、ポストコーン
4 静岡国道事務所	国道1号	静岡市清水区二の丸町(二の丸交差点)	薄層カラー舗装
5 静岡国道事務所	国道139号	富士市伝法522(広見IC交差点)	ICランプ2車線化
6 沼津河川国道事務所	国道1号	駿東郡清水町八幡129(八幡交差点)	薄層カラー舗装、区画線、右折導流線【追加対策】
7 沼津河川国道事務所	国道1号	駿東郡清水町八幡179(八幡東交差点)	薄層カラー舗装、区画線、右折導流線【追加対策】
8 沼津河川国道事務所	国道246号	御殿場市北久原276-1(北久原交差点)	注意喚起看板【追加対策】
9 沼津河川国道事務所	国道246号	御殿場市川島田880-6(川島田交差点)	薄層カラー舗装、区画線、交差点内導流標示【追加対策】
10 浜松河川国道事務所	国道1号	浜松市中央区中野町2546(中野町IC交差点)	ICランプ 右折車線の延伸【追加対策】
11 沼津河川国道事務所	国道1号	駿東郡清水町玉川108(清水町玉川交差点)	薄層カラー舗装、区画線、右折導流線【追加対策】 (R6対策実施区間)
12 沼津河川国道事務所	国道246号	沼津市岡一色672-2(池上交差点)	薄層カラー舗装、区画線、右折導流線 (R6対策実施区間)

● 令和7年度 対策実施区間 10区間
うち6区間は追加対策

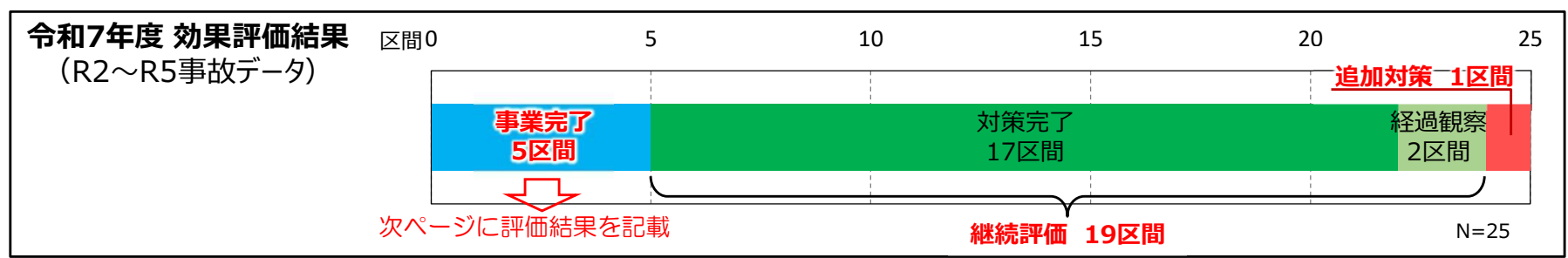
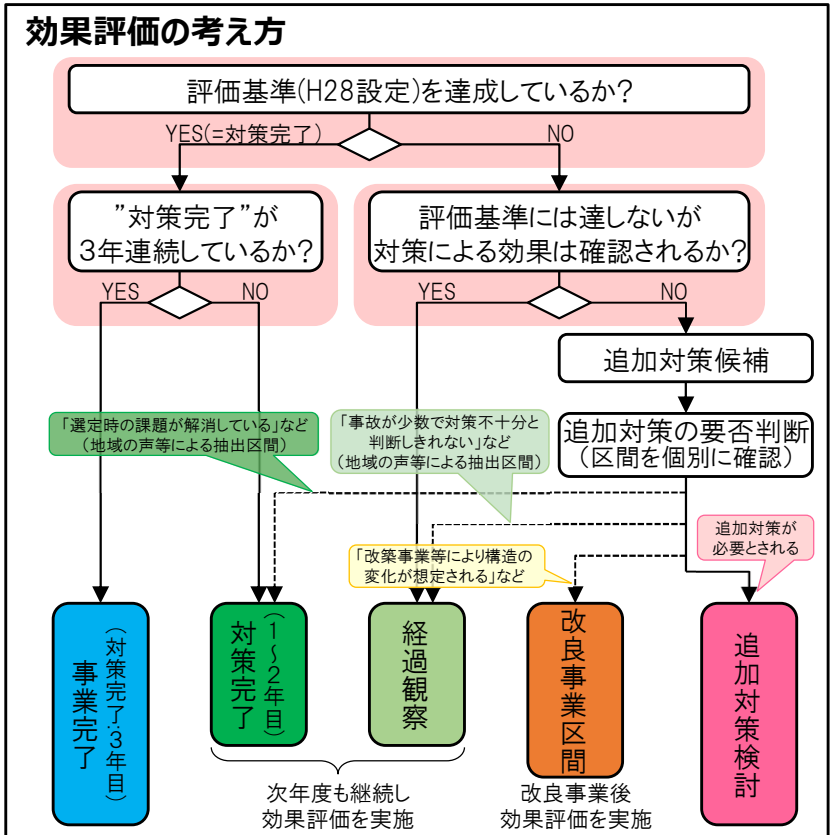
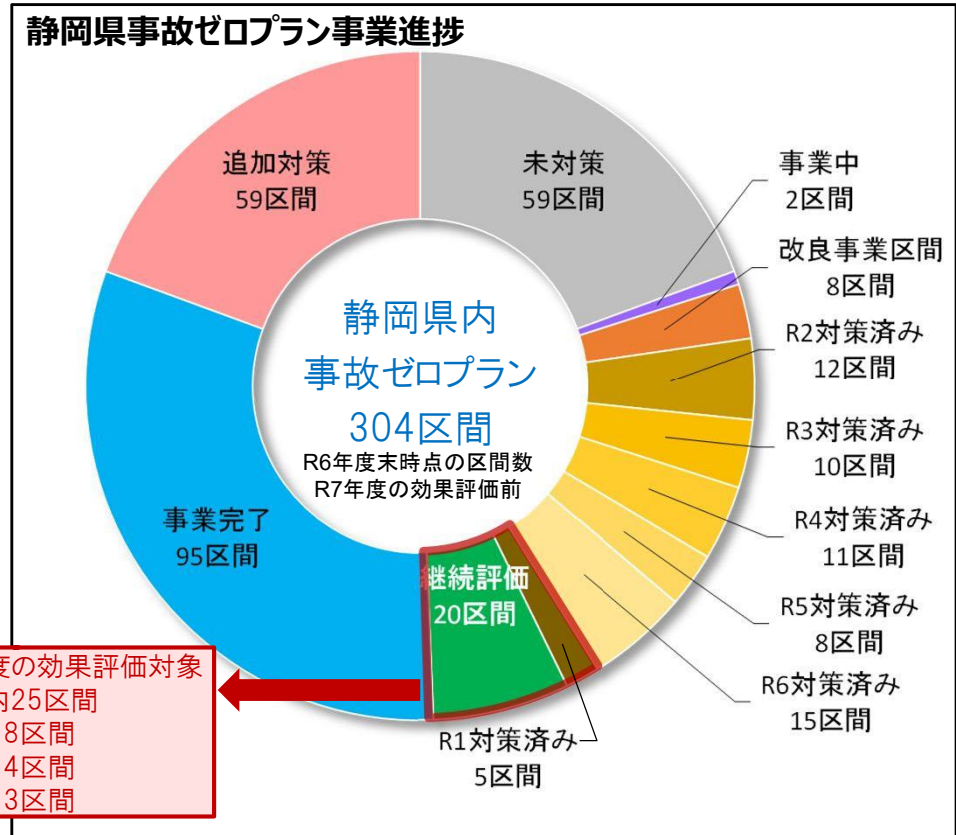
※「⑩清水町玉川交差点」および「⑫池上交差点」は、
昨年度にて未報告であった、令和6年度対策実施区間



4

対策済み区間に対する効果評価

- R7年度の効果評価はR2～R5の事故データを用い、新規評価5区間（R1年度対策済み）と継続評価20区間の、計25区間を対象として実施。
- 評価結果は事業完了: 5区間、継続評価: 19区間、追加対策: 1区間。



※詳細は、参考資料 (P2～P10) を参照

4

対策済み区間に対する効果評価

令和7年度 事業完了区間の評価結果

事故データに基づく選定区間

「事故データに基づく選定区間」では2区間を事業完了と評価

- ・中之郷交差点はR4効果評価で採択基準を上回っていたが、対策後に交差道路が改良されていたため経過観察と評価、その後のR5効果評価以降では採択基準を下回るとして3年連続で対策完了評価。
- ・浜松市中央区飯田町(交差点名なし)は効果評価を開始したR5以降、採択基準を下回るとして3年連続で対策完了評価。

箇所概要					効果評価				
選定理由	事務所	新区間番号	区間名	対策実施年	R4 効果評価	R5 効果評価	R6 効果評価	R7 効果評価	R7 効果評価結果
事故	静岡	22-K006086-000	静岡市清水区中之郷3-5-40(中之郷交差点)	H28	経過観察	対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	浜松	22-K005688-000	浜松市中央区飯田町271-1(交差点名なし)	H29		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了

地域の声等に基づく選定区間

「地域の声等に基づく選定区間」では3区間を事業完了と評価

- ・塚原交差点はR4効果評価で対策前と比較して事故件数は減少していないが、事故件数自体が少なくいため経過観察と評価。R5効果評価以降は“事故件数の減少”と“対策効果”が確認されたとして3年連続で対策完了評価。
- ・舞々木町交差点および横砂交差点は効果評価を開始したR5以降、“事故件数の減少”と“対策効果”が確認されたとして3年連続で対策完了評価。

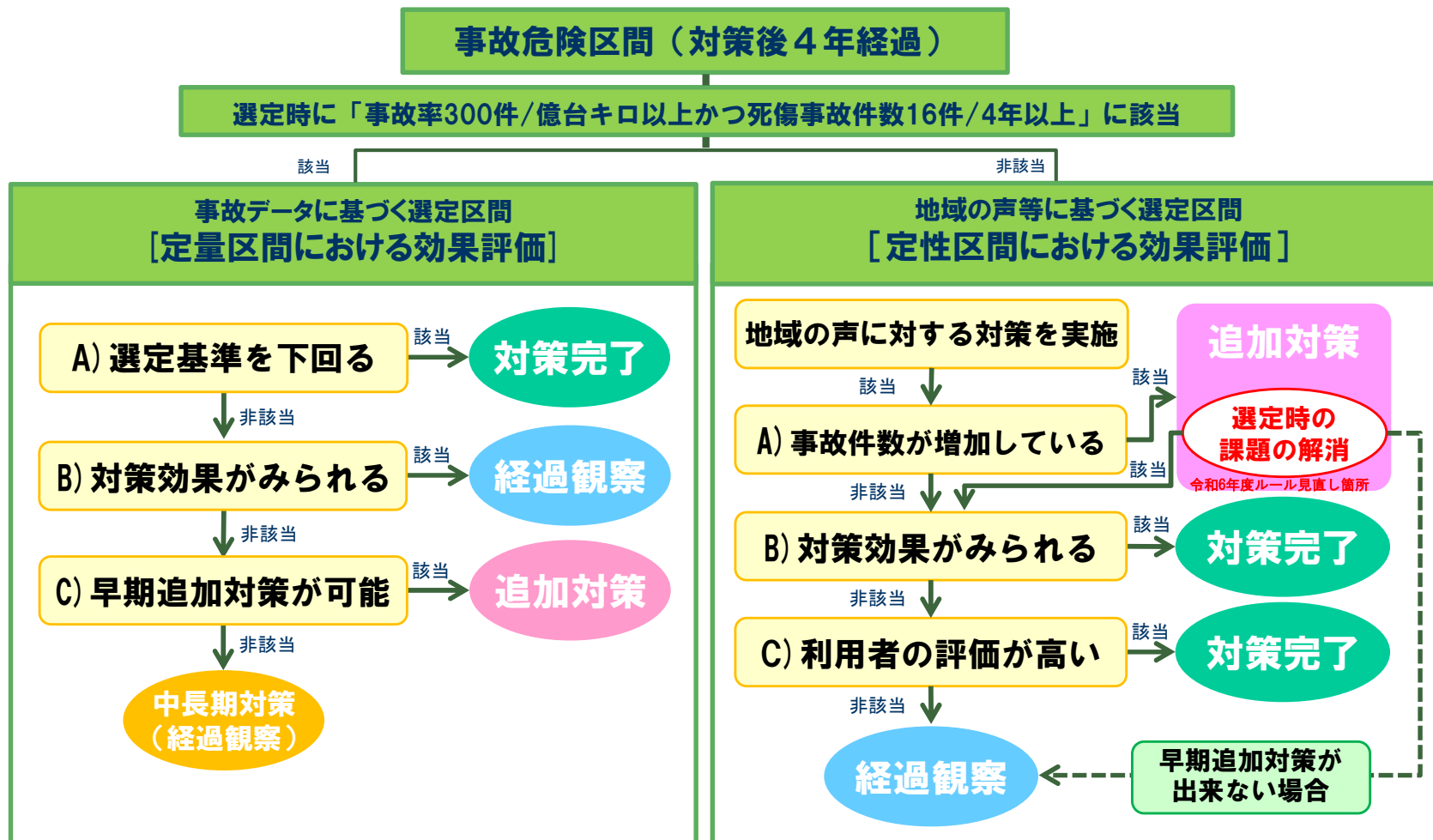
箇所概要					効果評価				
選定理由	事務所	新区間番号	区間名	対策実施年	R4 効果評価	R5 効果評価	R6 効果評価	R7 効果評価	R7 効果評価結果
意見	静岡	22-K006290-000	富士宮市富士見ヶ丘415番地(舞々木町交差点)	H29		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	静岡	22-K003750-000	清水区横砂中町16番地(横砂交差点)	H29		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	沼津	22-K006361-000	御殿場市塚原837(塚原交差点)	H28	経過観察	対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了

対策済み区間に対する効果評価

①対策済み区間に対する効果評価の考え方

- 平成28年度に決定した効果評価手法に基づき、対策済み区間に対する効果評価を実施した。
(対策済み区間のうち、個別評価が可能となる対策後4年以上の事故データが存在する区間が対象)
- 効果評価により抽出された「追加対策候補区間」に対して、追加対策の要否判断を実施した。

【平成28年度に決定した効果評価手法（令和6年度に一部改定）】

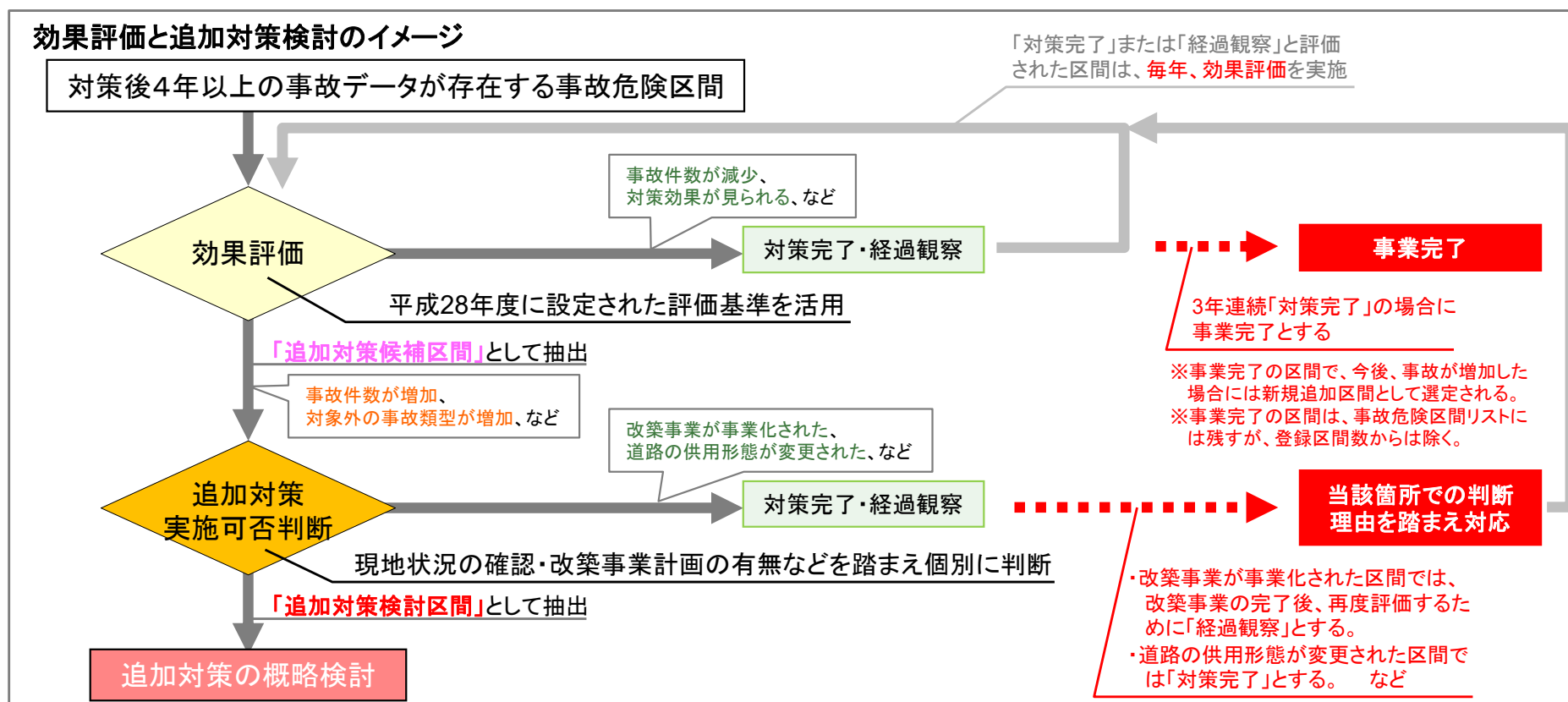


※事故危険区間選定時に「事故データ」「地域の声」の両基準により選定された区間については、「事故データに基づく選定区間」の評価基準を適用した。

対策済み区間に対する効果評価

② 「効果評価結果」による事故危険区間の取り扱い

- 対策後4年以上の事故データが存在する区間に対して、効果評価を実施し「追加対策候補区間」を抽出した。また、抽出された「追加対策候補区間」について”現地状況”や”改築事業計画の有無”を確認し、区間毎に追加対策の実施可否判断を行い「追加対策の概略検討」を行う。
- 「追加対策の実施可否判断」においては「改築事業が事業化された区間」や「供用形態が変化した区間」などの当該区間での状況を踏まえて、「経過観察」または「対策完了」と評価する。
- 効果評価の結果、「対策完了」または「経過観察」と評価された区間は、毎年、効果評価を実施する。また、3年連続「対策完了」と評価された場合は、「事業完了」とする。

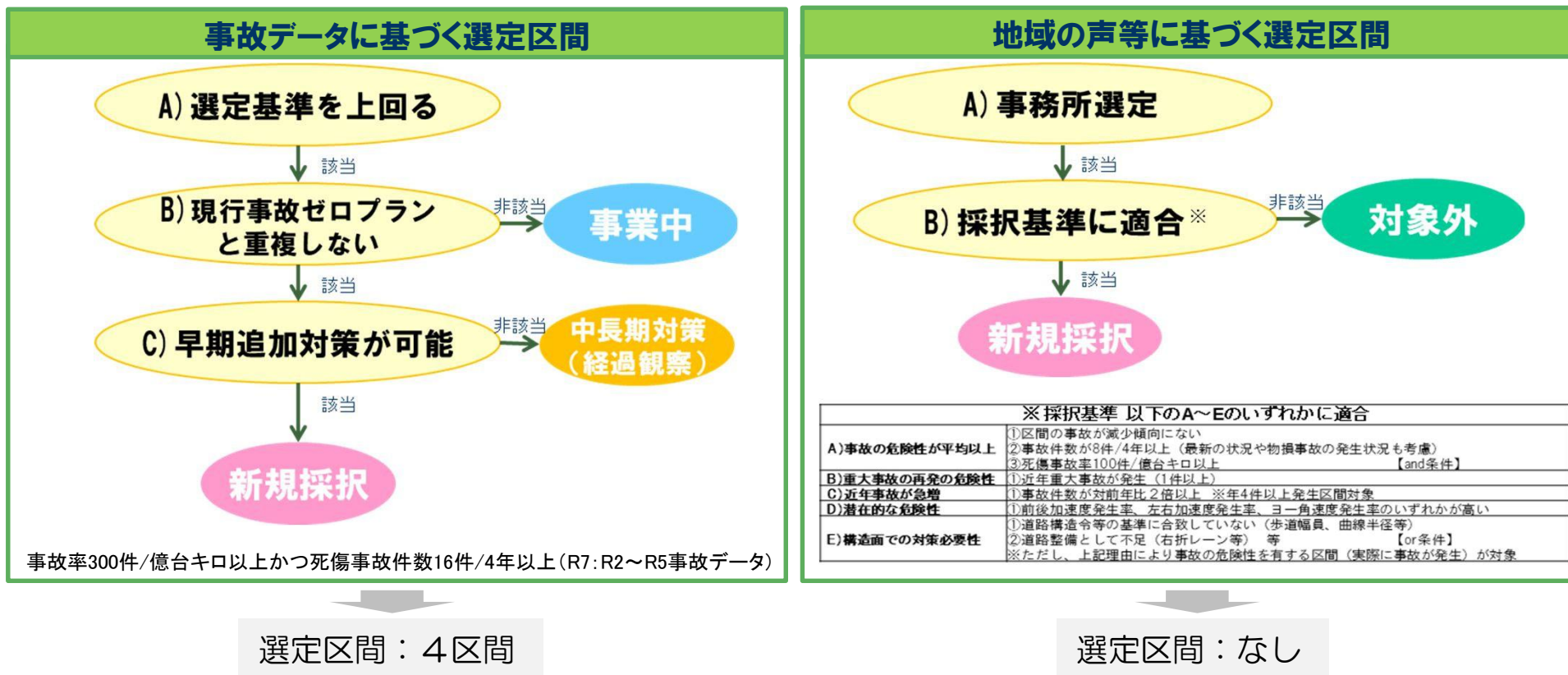


事故ゼロプランの新規追加区間

①令和7年度 新規追加区間（案）

- 「事故データに基づく選定区間」および「地域の声等に基づく選定区間」として4区間を選定。

【事故ゼロプランの新規採択基準】



事故ゼロプランの新規追加区間

②令和7年度 新規追加区間（案） 一覧

- 「事故データに基づく選定区間」として4区間を選定。
※今年度は「地域の声等に基づく選定区間」は選定無し。

選定基準：死傷事故件数16件/4年以上かつ死傷事故率300件/億台キロ以上に該当

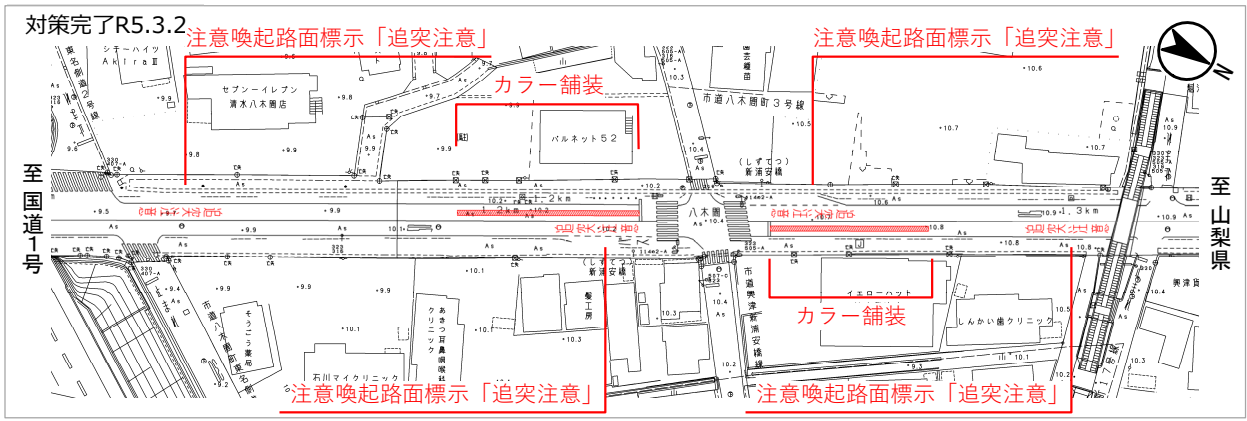
事務所名	イタルダ区間番号	交差点 単路別	市町村名	箇所名	路線番号	キロ程		R2-R5 死傷事故件数 (件/4年)	R2-R5 死傷事故率 (件/億台キロ)	事故データに 基づく抽出	地域の声等に 基づく抽出	備考
						交差点:中心 単路:起点	単路:終点					
静岡 国道事務所	22-K006145- 000	交差点	静岡市	静岡市清水区七ツ新屋414(七ツ新屋交差点)	国道1号	173.9	-	16	322.0	●		
静岡 国道事務所	22-K006083- 000	交差点	静岡市	静岡市葵区古庄1-1-1(古庄交差点)	国道1号	177.4	-	21	422.6	●		
浜松河川 国道事務所	22-K005677- 000	交差点	浜松市	浜松市中央区飯田町(下飯田北交差点)	国道1号 浜松BP	254.6	-	31	551.8	●		
浜松河川 国道事務所	22-K061283- 100	交差点	掛川市	掛川市領家(領家交差点東側・側道合流部)	国道1号 袋井BP	232.9	-	17	405.6	●		

6 事故危険区間の対策事例紹介

静岡国道事務所 国道52号 静岡市清水区八木間町（令和4年度対策実施）

- 長い直線区間であり走行速度が高くなりやすい中、沿道にはスーパーやコンビニ等の施設があるため、沿道施設への出入り車両に気づくのが遅れ、追突事故が多発していた。
- 通過車両に対する注意喚起のために交差点流入部にはカラー舗装を設置し、沿道施設が連続する区間の手前には追突注意の注意喚起路面標示を設置した。
- 対策後は事故が減少傾向にあり、急ブレーキ発生頻度の減少も確認された。

■対策図



■事故要因・対策

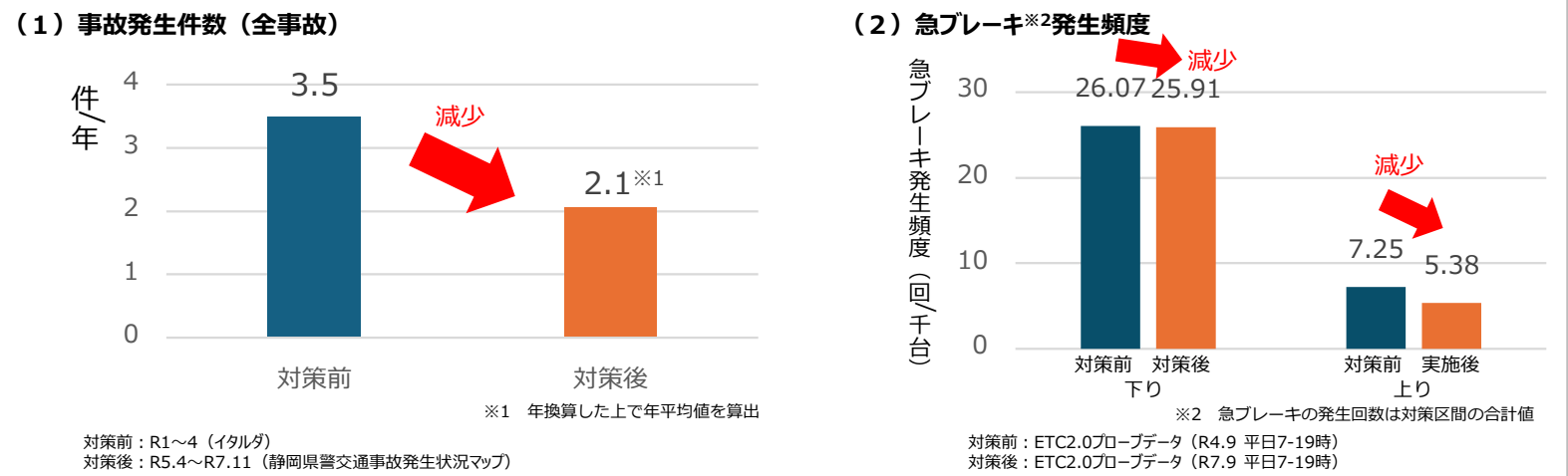
沿道施設への出入り車両に気づくのが遅れ、追突事故が発生

注意喚起を図るために、カラー舗装、注意喚起路面標示「追突注意」を設置

■現地状況



■効果評価結果

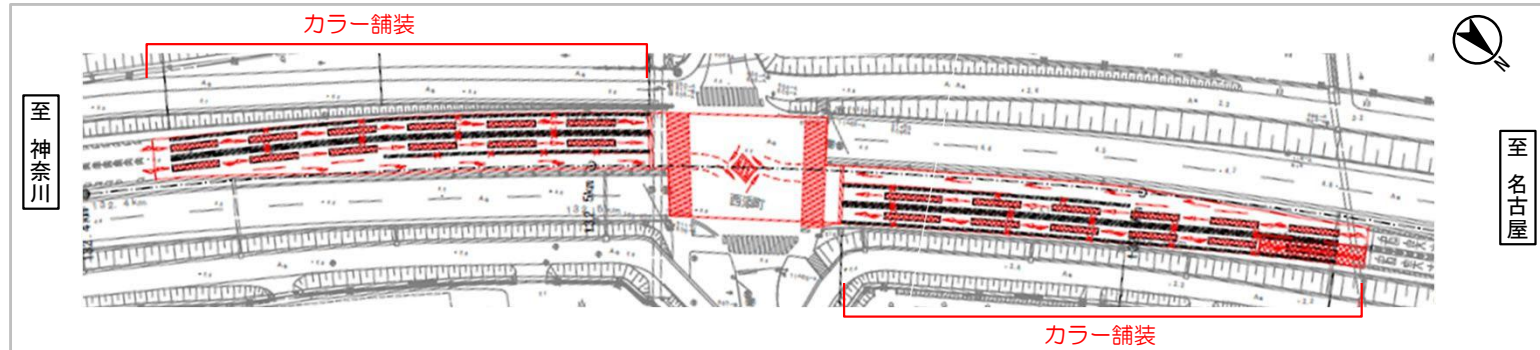


6 事故危険区間の対策事例紹介

沼津河川国道事務所 国道1号 西添町交差点（令和6年度 対策実施）

- 国道1号西添町交差点付近は、交差点手前が緩やかなカーブになっており、視認性が悪く、また交差点がサグ部となっており、減速が間に合わず追突事故が発生。
- 交差点の注意喚起をはかるため、交差点流入部のカラー化の対策を実施。
- 対策後は、**死傷事故件数は約6割減少し、減速回数も1割減少。**

■対策図



■現地状況



■事故要因・対策

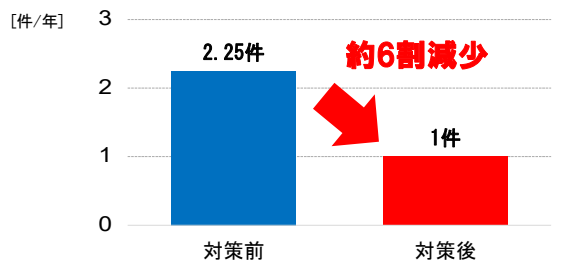
• 交差点手前が緩やかなカーブになっており、視認性が悪く、また交差点がサグ部となっており、減速が間に合わず追突事故が発生。



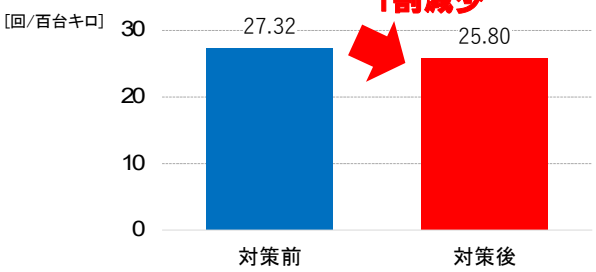
• 交差点の注意喚起を図るために、交差点流入部のカラー化

■効果評価結果

(1) 事故件数（対策実施範囲）



(2) 下り線の急減速回数



対策前:ITARDAデータ R2~R5の4年間の事故件数から年平均を算出
対策後:R7.1月~12月の事故件数を静岡県警察交通事故発生状況マップで集計

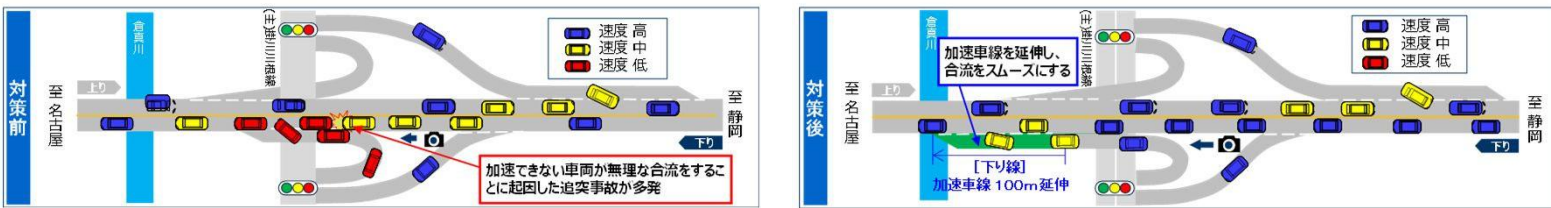
ETC2.0プローブデータ(7時~19時の昼間12時間):対策前(R6.4)、対策後(R7.3)の各1ヶ月間
分析範囲:交差点手前の50m区間

6 事故危険区間の対策事例紹介

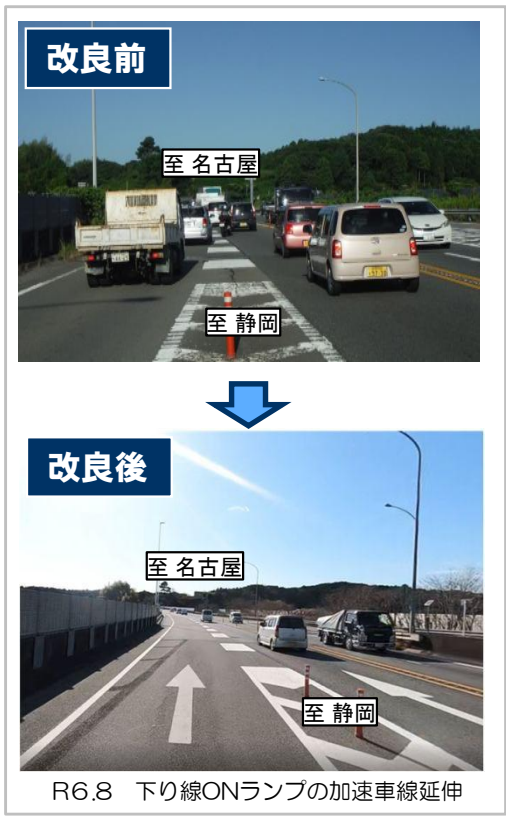
浜松河川国道事務所 国道1号 掛川市西郷IC (令和6年度 対策完了)

- 下り線ONランプにおいて、加速車線長が十分に確保されていないことによって、円滑な合流ができず無理な合流による速度低下に起因した追突事故が多発していた。
- 無理な合流による速度低下および車線変更に起因する事故対策として、加速車線の延伸（100m延伸）を実施した。
- 対策前後の車線変更位置を見ると、合流位置がテーパー側に改善され、また本線およびランプどちらも急減速の割合が約4割減少した。

■ 対策図



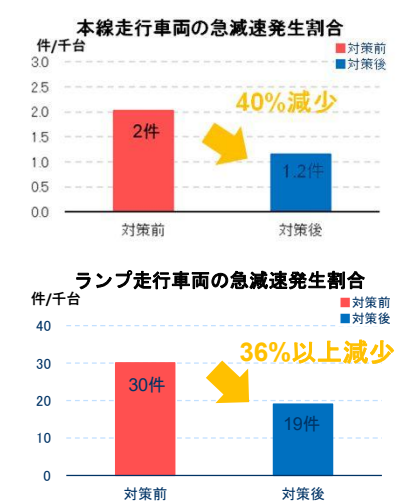
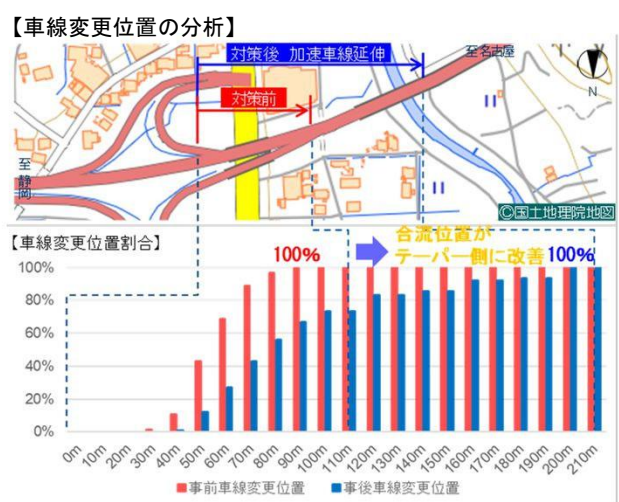
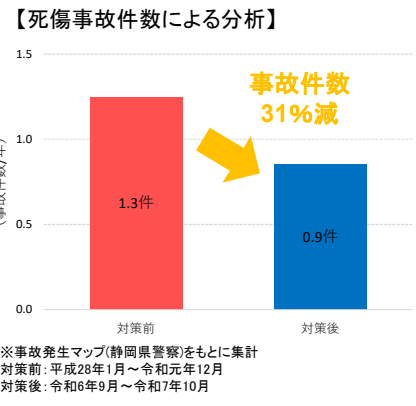
■ 現地状況



■ 事故要因・対策

改良前	<ul style="list-style-type: none"> • 下り線ONランプにおいて、加速車線長が十分に確保されず、円滑な合流ができず無理な合流による速度低下に起因した追突事故が発生 	▶	改良後	<ul style="list-style-type: none"> • 下り線ONランプの加速車線延伸(100m)を実施 → <u>合流位置がテーパー側に改善</u> → <u>本線・ランプどちらも急減速の割合が減少</u>
------------	---	---	------------	--

■ 効果評価結果



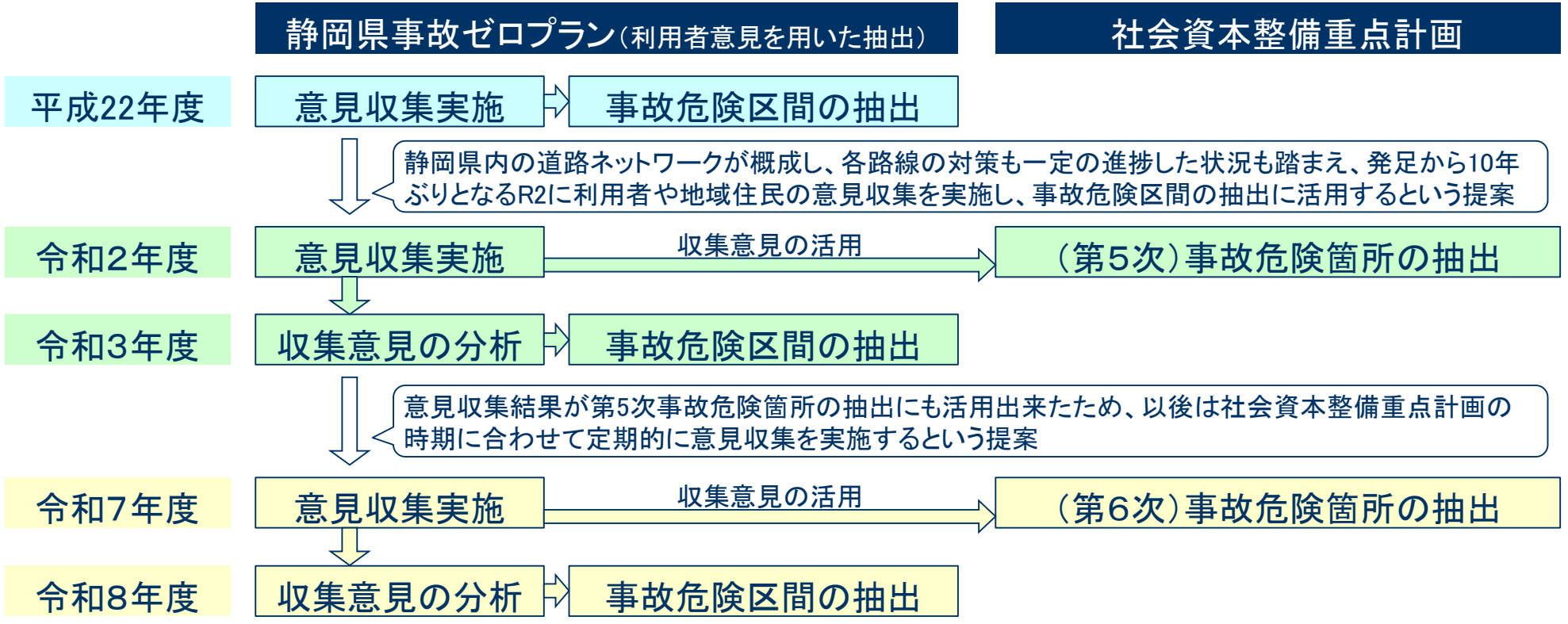
【ETC2.0分析期間】
 対策前:令和2年10月
 対策後:令和6年10月

【挙動調査】
 対策前:平成30年12月20日
 対策後:令和6年10月29日

7 令和7年度の道路利用者意見収集の実施状況について

道路利用者意見収集の目的

- 平成22年の静岡県事故ゼロプラン発足時には、事故危険区間の抽出に際して「最新事故データを用いた抽出」と「県内の利用者意見収集結果を用いた抽出」を行った。
- 平成23年以降は「最新事故データを用いた抽出」は継続して行っていたが、県内の利用者意見収集は行っていなかったことを踏まえ、令和2年度には10年ぶりに利用者意見収集を実施し、令和3年度には意見収集の結果を用いた事故危険区間の抽出を行っている。
- 令和2年度に収集した利用者意見は第5次社会資本整備重点計画の事故危険箇所の抽出に活用できたことを踏まえて、以後の道路利用者意見収集は社会資本整備重点計画の策定年に実施する方針としている。

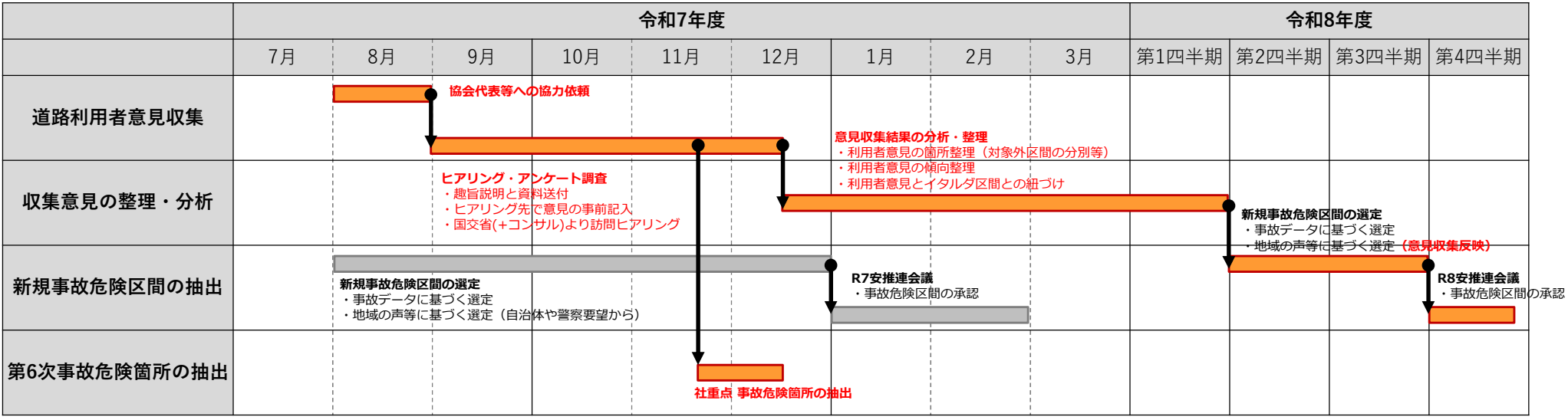




令和7年度の道路利用者意見収集の実施状況について

道路利用者意見収集の概要

- 令和7年度内に「道路利用者意見収集」を実施。収集結果については分析整理をすすめ、意見収集結果を活用した「新規事故危険区間の選定」を令和8年度に行う。



- 意見収集では「危険を感じた箇所」「対象者」「具体的な状況」「考えられる対策例」を収集した。

■ヒアリングシート

No.	路線名	住所 交差点名又は地先	対象者(複数可)	交通安全上の問題点・課題点など	考えられる対策例
例1	国道1号	〇〇交差点(下り線)	<input type="checkbox"/> 大型自動車 <input checked="" type="checkbox"/> 普通自動車 <input type="checkbox"/> 二輪車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 歩行者 <input type="checkbox"/> その他()	高架部の橋脚により側道からの進入車両が見づらく、出会い頭事故の危険がある	本線を走る車両への注意喚起が出来ないだろうか
例2	〇〇BP	〇〇IC付近	<input checked="" type="checkbox"/> 大型自動車 <input type="checkbox"/> 普通自動車 <input type="checkbox"/> 二輪車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 歩行者 <input type="checkbox"/> その他()	近年、速度が上昇して危険性が増したように感じる	スピードを出させない方法を考えるべきだと思う
1			<input type="checkbox"/> 大型自動車 <input type="checkbox"/> 普通自動車 <input type="checkbox"/> 二輪車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 歩行者 <input type="checkbox"/> その他()		
2			<input type="checkbox"/> 大型自動車 <input type="checkbox"/> 普通自動車 <input type="checkbox"/> 二輪車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 歩行者 <input type="checkbox"/> その他()		

■webアンケート設問

	質問	回答
問1	静岡県直轄国道(図示)を利用したことがあり、これまで事故に繋がるような危険を感じたことがありますか。	択一回答 1.はい 2.いいえ (いいえと答えた場合は調査終了)
問2	危険を感じた箇所についてお聞きします。危険を感じた箇所を地図上で示してください。	箇所選択 埋め込み地図上で箇所を選択
問3	危険を感じた路線は以下のどの路線ですか。	択一回答 1.国道1号 2.国道52号 3.国道138号 4.国道139号 5.国道246号 6.伊豆縦貫自動車道 7.三遠南信自動車道
問4	箇所は具体的に以下のどの場所ですか。	択一回答 1.車道:交差点の中 2.車道:交差点の手前 3.車道:インターチェンジ 4.横断歩道 5.1.~4.以外の本線等の車道 6.歩道 7.その他の場所
問5	危険を感じたときのあなたの移動手段は何でしたか。	択一回答 1.乗用車 2.大型車 3.二輪車 4.自転車 5.徒歩
問6	危険を感じたときの相手の移動手段は何でしたか。	択一回答 1.乗用車 2.大型車 3.二輪車 4.自転車 5.徒歩 6.相手はわからない
問7	その時の時間帯はいつでしたか。	択一回答 1.昼間 2.夜間
問8	その時の交通状況はどうでしたか。	択一回答 1.渋滞していた 2.多少混雑していた 3.空いていた
問9	どのような状況で危険を感じましたか。以下の例を参考にその時の状況を回答欄に記入してください。(例:右折しようとしたときに歩行者がいたため、ためらっていたら対向車にぶつかりそうになった。など)	自由回答
問10	危険を感じた箇所について、どのように改善されたらよいと思いますか。	自由回答



令和7年度の道路利用者意見収集の実施状況について

道路利用者意見収集の意見収集結果

- 社会資本整備重点計画の事故危険箇所と連動を図るべく令和7年度は道路利用者の意見収集を実施。
- 収集した意見は令和8年度に“地域の声等に基づく選定区間”の抽出に活用する。
- また令和7年度に実施した“第6次事故危険箇所”の登録予定箇所の抽出にも活用した。

		静岡県内道路利用者意見収集								
		意見収集手法	意見収集結果							
			静岡国道事務所		沼津河川国道事務所		浜松河川国道事務所			
道路利用者意見収集対象者	道路利用者	地域住民	地域住民の代表として沿線自治体へのヒアリング調査	5自治体	約45意見	12自治体	約80意見	6自治体	約50意見	
		職業ドライバー	トラック協会代表企業	ヒアリング調査	2社	約20意見	1社	約10意見	3社	約5意見
			バス協会代表企業	ヒアリング調査	3社	約55意見	4社	約20意見	2社	約35意見
			タクシー協会代表企業	ヒアリング調査	2社	約25意見	2社	約10意見	3社	約5意見
	パブリックコメント(Webアンケート)	道路利用者へのWebアンケート調査(モニター調査)	約400名	約490意見	約300名	約480意見	約400名	約480意見		
		道路利用者へのWebアンケート調査(オープン調査)		約25意見		約10意見		約5意見		
収集意見数			約660件		約610件		約580件			

静岡県事故ゼロプランの来年度の取組（予定）

- 令和8年度は引き続き“対策済み区間に対する効果評価”および“新規追加区間の抽出”を進める。
- 代表的な区間において、対策実施による効果を確認し効果事例の共有を行う。

令和8年度の静岡県事故ゼロプランの取組予定

■ 取り組み1. 対策済み区間に対する効果評価

- ・ 新たに効果評価の対象となる“令和2年度対策実施区間”を含めた効果評価を実施し、追加対策検討区間の抽出と事業完了区間の整理を行う。

■ 取り組み2. 新規追加区間の抽出

- ・ 新たな事故データ(R3-R6)を用いて事故データに基づく新規追加区間の抽出を行う。
- ・ 令和7年度に実施した「道路利用者意見集収集」の分析を行い、地域の声等に基づく新規追加区間の抽出を行う。

■ 取り組み3. 事故危険区間の対策効果事例

- ・ 近年対策を実施した事故危険区間での対策効果事例の共有を行う。